

令和5年9月27日

保護者 様

加古川市立野口北小学校

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

秋冷の候、皆様方には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は学校教育にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度実施しました全国学力・学習状況調査の結果を分析いたしましたところ、本校では以下のような傾向が見られましたのでお知らせいたします。

1. 結果の概要

【国語】

本校では全国平均より無解答率は低く、難しい問題にもあきらめずに解答しようとしたり、自分の考えを整理して表現しようとしたりする意欲は高い傾向にあります。正答率の高低傾向は全国平均の様相と似通っており、昨年に続いて「書くこと」領域に関わる問題に課題が見られました。具体的には、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる問題です。

【算数】

本校では、伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する問題において正答率は高く、二つの数量関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察して記述していました。正答率の高低傾向は全国平均の様相と似通っており、「数と計算」領域、「図形」の領域に関わる以下の問題に課題が見られました。

- ① (2位数) ÷ (1位数) の筆算について、計算に関して成り立つ性質や図を基に、各段階の商の意味を考える問題
- ② 基準量として比較量から百分率で表された割合について考える問題
- ③ 正三角形の意味や性質について考える問題
- ④ 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題

2. 児童質問紙から見えること

質問の内容は、「基本的生活習慣」「挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感」「学習習慣、学習環境」「地域や社会に関わる活動の状況」「ICTを活用した学習状況」「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業に対する取組状況」「総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳」、学習に対する興味関心や授業の理解度「国語」「算数」「英語」の10観点59項目と、学力調査に関する解答状況について問う4項目でした。

回答結果の「当てはまる(している)」「どちらかといえば当てはまる(している)」を合わせたとき、全国平均を大きく超える項目が多くありました。これには、基本的生活の習慣化、自己肯定感が高い傾向にあること、学校生活(学習、先生、友達関係等)への期待が大きいことが表れています。また、多くの児童が、学校生活や学習内容は、「将来、社会に出たときに役立つ」と考えている

こともわかりました。(以下は、その抜粋です。)

- 朝食を毎日食べていますか (98.5%)
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか (87.7%)
- 自分には、よいところがあると思いますか (90.8%)
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか (94.6%)
- 人が困っているときは、進んで助けていますか (90.0%)
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか (97.0%)
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか (96.9%)
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか (よくある 93.1%)

3. 今後の取組について

本校では、学校教育目標に「こころ豊かに、自らの力で未来を切り拓く子の育成」を掲げ、教育活動を進めています。また、研究主題を『表現することを通して学びを深める子どもの育成～「学び合い」で考えを深め、「わかる学力」を育む授業づくり～』として、^{*}「協同的探究学習」の理念に基づく授業改善に取り組んでいます。

授業では、考えを記述し、根拠や理由を説明する活動を積極的に取り入れると共に、進んで自分の考えをもち、友達の意見に興味・関心を向けながら、さらに自分の考えを深めようとする態度と「わかる学力」の向上に取り組んでいるところです。しかし、昨年に続いて「書くこと」への取組に改善が必要だということがわかりました。一人一人課題は異なりますが、各学年の実態に応じて「何をどのように書くのか」意識して取り組むことができる授業づくりに一層努めます。また、「できる学力」の定着についても、各学年の実態や課題を見極めつつ、ICTを適切に活用することを含め、工夫して取り組んでまいります。

※協同的探究学習の理念には、学力は「できる学力」(知識及び技能)と「わかる学力」(思考力・判断力・表現力等)の両輪を成しているという考えがあります。本校ホームページにも、授業改善の工夫や研究について公開していますのでご覧ください。

子どもたちの学力の向上には、健康・体調管理の面、家庭における基本的な生活習慣や学習習慣の確立等、学校だけでは力の及ばないこともございます。学校と家庭が連携し、子どもたちの学力向上と健全な育成を図っていきましょう、ご家庭でも、本に触れたり、ICTを適切に活用して学習に取り組んだりする時間をもつなど、「学びに向かう姿勢」を育てていただけるとありがたいです。

今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。